東京・大田区長「まちづくり進める」蒲蒲線の整備合意で

#東京 #関東

2022/6/7 2:00

JR・東急電鉄の蒲田駅と京浜急行電鉄の京急蒲田駅を結び羽田空港に連絡する「新空港線（蒲蒲線）」の実現に向け、地元の大田区と東京都が合意した。区は今後、整備主体となる第三セクターを設立し、2030年代の開業を目指す。松原忠義区長は6日の記者会見で、「さらなる活性化のため、地域特性を生かしたまちづくりを連動して進める」と強調した。

蒲蒲線は東急多摩川線の矢口渡駅付近から蒲田、京急蒲田の2駅の地下を経由し、京急空港線の大鳥居駅の手前から同線に乗り入れる計画。第1期で京急蒲田駅の地下部分までを整備し、自治体負担分のうち、区が7割、都が3割を負担する。区によると、整備により東急沿線の渋谷などへのアクセス向上に加え、大森エリアなど周辺の活性化も期待できるとしている。

一方で、京急蒲田駅から羽田空港への乗り入れの実現には課題も残っている。第2期はレール幅が異なる区間を走行できるフリーゲージトレインや複数のレール幅に対応する「三線軌条」の手法などで、空港乗り入れに向けた方法の検討が必要となる。